

キスリング展

Kisling

モンパルナスーその青春と哀愁



《赤いセーターと青いスカーフをまとったモンパルナスのキキ》1925年 ブティ・ノル・美術館、ジュネーヴ蔵

©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2007

2007年7月26日木→8月26日日

会期中無休

そごう美術館(横浜駅東口・そごう横浜店6階)

■開館時間:午前10時~午後8時

※最終日は午後5時閉館、入館は閉館の30分前まで

■入館料:大人 1,000(800)円、大学・高校生 800(600)円、中学生以下無料

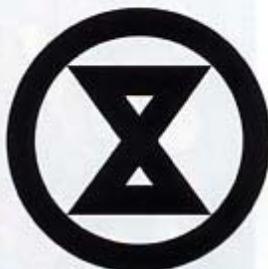
※消費税込み。※()内は前売および20名さま以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは()内料金にてご入館いただけます。

主催:財団法人そごう美術館、日本経済新聞社

後援:フランス大使館、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、 MITSUI

協力:エールフランス航空 企画協力:株式会社ブレーントラスト

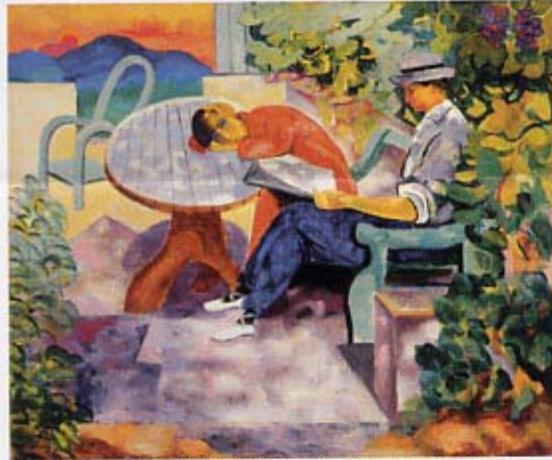

SOGO
横浜
電話045(465)2111大代表



《オランダ娘》1922年 大阪市立近代美術館建設準備室蔵



《赤い長椅子の裸婦》1937年 東京市立近代美術館蔵



《サン=トロベでの昼寝(キスリングとルネ)》1916年 プティ・パレ美術館、ジュニエ蔵

その青春と哀愁
モンパルナス

キスリング展

Kisling

エコール・ド・パリを代表する画家の一人であるモイーズ・キスリング(1891-1953)。ポーランドに生まれたキスリングはクラクフの美術学校に学び、恩師の勧めを受けて、故郷を離れてパリへと向かいます。社交的な性格であったことから、モディリアーニ、ピカソ、ブラック、藤田嗣治、パスキンら多くの画家たちと親交を深め、多様な文化的背景をもつエコール・ド・パリの画家の中心的な存在となりました。またジャン・コクトー、アン・ドレ・サルモン、マックス・ジャコブら詩人とも交流し、「モンパルナスのプリンス」とうたわれるほど、社交界の花形となったのです。第一次世界大戦にはフランスの外人部隊に参戦して、その軍功によりフランス国籍を得ます。その後、一時アメリカへ逃れますが、再びフランスへ戻り、南仏サンタリに構えた別荘で亡くなりました。

キスリングはモンパルナスのキキラをモデルにして、魅力的な女性像を多く残し、その人物像は憂いをおびた表情を見せるとき同時に官能性をもたたえています。このほか、静物、花、人物、裸婦、風景など多数の作品を誕生させ、そのつややかな質感と鮮やかな色遣いは画家の真骨頂ともいえます。

生誕100年を記念して行われた展覧会以来、日本においてはおよそ15年ぶりとなる本格的な回顧展となる本展覧会では、プティ・パレ美術館(スイス・ジュネーヴ)のコレクションを中心として、国内所蔵の作品などを加えた油彩画60点あまりを公開します。キスリング独特の濃密な表現を堪能していただけることでしょう。



《花束》1931年 プティ・パレ美術館、ジュニエ蔵

さあ、夏休み! こども向けプログラムが盛りだくさん

ギャラリートーク

◎毎週火曜日・土曜日 午後2時から
火曜日はお子さま向けにわかりやすくお話しします。

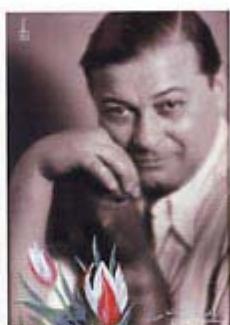
ワークシートで展覧会を楽しもう!

キスリングをより知るために、ワークシートに挑戦してみませんか。

第5回 かながわ・よこはま こどもアート大賞のお知らせ

神奈川県下に在住・在学の未就学児童、小学生、中学生を対象に、絵の公募展を開催します。絵のテーマやサイズなど、詳細はそごう美術館までお問い合わせください。

◎作品受付期間: 7月26日(木)~9月17日(月・祝)



©Kisling Archives

そごう美術館

郵便番号220-8510
横浜市西区高島2-18-1
電話045(465)5515(美術館直通)
<http://www.sogo-gogo.com/museum/>